

6. 今後の計画推進の基本的考え方

- ここまでのページで、今後の計画推進に当たり留意すべき事象や政策の推進状況等を整理してきました。それらの概要と、**他に考慮すべき視点**※を改めて次のとおり整理した上で、今後の計画推進に当たっての基本的な考え方を取りまとめました。

<北海道の潜在力>

北海道は、広大な大地や豊富な資源等を背景に、これまで我が国の成長を力強く支えてきました。近年は、豊かな食や自然環境が国内外の多くの方々を魅了し、また、大規模自然災害リスクが高まる中において首都圏と同時被災する可能性の低さや、風力・バイオマス*といった自然エネルギー資源の豊かさ、縄文やアイヌといった独自の歴史・文化などが、北海道の価値や強みを高めています。

1 経済社会情勢の変化 (P8~12)

- 本道の人口は現在も全国を上回るペースで減少を続けています。
- 北海道内の転出入状況は、約8,000人の転出超過となっています(日本人のみ)。
- 民間事業者による小型ロケットの開発や、積雪寒冷地に対応した自動走行の実用化試験、Society5.0*の進展など、新たな技術を活用した取組が見られます。
- 鉄道をはじめとする地域公共交通機関の持続性が課題となっています。
- TPP11協定*や日EU・EPA*、日米貿易協定*の発効による影響が懸念されています。
- 新たな在留資格「特定技能」の創設などにより、外国人の増加が見込まれます。
- SDGs*の取組が広がりつつあります。
- 新エネルギーの導入が進んでいますが、一人当たりCO₂排出量は全国よりも高くなっています。
- 大規模自然災害のリスクが高まっています。

2 道民意識の推移 (P13~17)

- 定住意識として「今住んでいる市町村に住んでいたい」と答えた人の割合が75.4%と、ここ30年間は70%台半ばで推移しています。
- 今後の社会的問題として「地震や台風などの災害」を挙げる人の割合が大幅に増加(26.5%(2014年)→61.9%(2019年))しました。
- 経済活性化に向けて力を入れることとして、「食や観光など北海道の特性を生かした産業の振興」(71.6%)、「産業の担い手となる人材育成」(45.4%)の割合が高くなっています。

3 政策の推進状況 (P20~51)

- 一定の成果が出てきている施策がある一方で、引き続き解決すべき課題を有する施策、時代の変化や要請に応える施策などもあり、前ページにまとめたような留意点に配慮しながら政策を推進していくことが必要です。

4 重点戦略計画の策定・改定 (P5~7) など ※

- 計画の推進に当たっては、重点戦略計画である「第2期北海道創生総合戦略」及び「北海道強靱化計画(改定版)」や特定分野別計画などと一体的に推進することが必要です。
- また、今回の点検・評価に当たっては、公約に掲げられた政策と総合計画の施策との関係を体系的に整理した上で、両者の整合を図りながら、各施策の進捗状況や課題等を取りまとめたところです。
- さらに、今後の計画推進に当たっても、総合計画の施策体系に沿って公約に掲げられた取組を位置付けながら、その方向性を示すこととします。
- 公約や重点戦略計画については、毎年度の政策評価を通じて、総合計画と一体的に推進することにより、実効性の確保を図っていきます。

5 将来を見据えて ※

- 全国を上回るスピードで進行する人口減少は北海道が直面する最大のピンチであり、高齢者人口の増加や生産年齢人口の減少といった**人口構造の変化は、私たちの暮らしに様々な影響を及ぼす**ことが予想されます。
- 今後とも北海道が更なる発展を遂げていくためには、人口減少の状況を直視しつつ、Society5.0*社会を実現する新技術や国内外の活力の取り込みといった**様々な可能性を最大限に活かしていく**ことが必要です。
- さらに、2020年にはウポポイ(民族共生象徴空間)の開設や新千歳空港の発着枠拡大等が、2023年度には北海道日本ハムファイターズの本拠地となる北海道ボールパークの開業、そして2030年度には道民の生活や経済に大きな変化をもたらす北海道新幹線の札幌延伸など、いくつもの大きな動きが控えています。こうした**チャンスを実際に捉え、北海道の発展に結びつけていく**ことが必要です。

6 北海道の可能性 ※

- 豊かな食や豊富な自然エネルギー、独自の歴史・文化など、北海道の**価値や強みを更に高める**ことで、北海道の持続的な発展につなげていくことができます。
- 一方で、現在の北海道は、人口減少や高齢化の進行に伴って**全国で顕在化している諸課題にいち早く直面**しています。そうした諸課題に立ち向かい、**その解決策を全国に発信**することができれば、これからの北海道は、**我が国の持続的な発展に貢献**するという新たな役割を担うことができます。
- 北海道がそうした新たな役割を担っていくためには、道民一人一人が、それぞれの**可能性に向けた挑戦を続ける**とともに、**国内外の意欲ある方々と力を合わせ、様々な課題の解決に向けて積極的に取り組んでいく**ことが必要です。

政策の推進状況

- これまでの政策の推進状況を見ると、一定の進捗が図られている施策がある一方で、進捗が遅れているものや重点化を図るべきものなどもあり、「点検結果のポイント」(P51)を踏まえた**取組の充実・強化が必要です**。
- また、Society5.0*やSDGs*、関係人口*など、計画策定後の経済社会情勢の変化等によって**新たな取組が求められるもの**も見受けられており、それらの方向性は、**総合計画が掲げる政策展開の基本方向と整合するもの**であります。こうした新たな取組を今後の政策展開に的確に反映していくことは、**計画推進の実効性を高めること**につながります。
- 個々の施策分野においては、そうした課題や環境変化への対応が必要となるものがありますが、食や環境、観光といった**北海道の強みを活かして、安全で安心して心豊かに住み続けることができる、活力ある地域社会の形成を目指していく本計画の政策展開の方向性は、現時点でも変わるものではない**と考えます。

将来の展望

- さらに、本道の将来を見ると、**2030年度には、北海道新幹線の札幌延伸**や、現在招致を目指している**冬季オリンピック・パラリンピック**といった、北海道にとって大きなチャンスが控えており、その間にも、北海道ポールパークの開業や東京2020オリンピック・パラリンピック、ウポポイ（民族共生象徴空間）の開設、新千歳空港の発着枠拡大、7空港一括民間委託のスタートなど、**更なる飛躍につなげていくべき様々な好機が到来**します。
- **計画の後半期**に当たるこれからの6年間は、こうした**好機を最大限に活かしながら**、北海道が有する**可能性を発揮し、磨き上げる**ことによって、将来に向かって**大きな飛躍を遂げるための土台**となる、**極めて重要な期間**となります。

今後の推進の考え方

- 計画策定後の新たな動きを的確に捉えるとともに、将来を見据え様々な好機を活かしながら、計画後半期において「**北海道・新時代**」の**創造**に向けた躍進の土台を築いていくためには、各施策それぞれがめざす目標に向けて課題等に果敢に取り組むとともに、内外の多様な力や**施策間の一層の連携によって相乗効果を高め**、新たなステージを切り拓いていくことが必要です。
- そこで、計画推進に当たって**各施策分野を横断的に俯瞰する視点**として、
 - ・ **Chance**（**好機**：新交流時代を捉えた政策展開）
 - ・ **Challenge**（**挑戦**：課題解決先進地の実現）
 - ・ **Cooperation**（**連携**：多様な力を結集した地域の創生）
 - ・ **Creation**（**創造**：地域経済を先導する産業の振興）の**4つの共通視点（4つのC）**を掲げ、そうした視点を重視しながら**関連施策を効果的に進める**ことで、**本計画を一層強力に推進**していきます。
- また、具体の施策推進においては、計画の**7つの将来像ごと**に、知事公約に掲げられた政策も踏まえながら、**その実現に向けた推進方向と主な関連施策**を示し（P55～58）、各施策の目標実現に向けた**取組を加速化**していきます。
- こうした考えのもと、時代の変化に的確に対応し、道民のみなさまや国内外の意欲ある方々と密接に連携を図りながら、人口減少対策や地域創生をはじめとする課題の解決や更なる成長を促進することによって、**計画のめざす姿に向けて、本計画を引き続き推進していくこと**とします。

■ 時代の変化に的確に対応し、道民のみならず国内外の意欲ある方々と密接に連携を図りながら、人口減少対策や地域創生をはじめとする課題を解決し更なる成長を実現する「北海道・新時代」に向けて、**4つの共通視点（4つのC）**を掲げ、計画を一層強力に推進していきます。

Chance（好機）

新交流時代を捉えた政策展開

- ウポポイ（民族共生象徴空間）の開設や北海道内7空港一括民間委託といった好機を確実に捉えるとともに、アドベンチャートラベルワールドサミットの誘致や北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録の実現といった新たなチャンスを獲得することによって、人・モノ・情報がボーダーレスに交流する拠点を形成していきます。
- 道内の各地域がそれぞれ有する資源や魅力を磨き上げ、道産食品の更なる輸出拡大やインバウンドの一層の加速化を図っていきます。
- 交通・物流ネットワークの更なる充実や公共交通のシームレス化を戦略的に進めていきます。

Cooperation（連携）

多様な力を結集した地域の創生

- ほっかいどう応援団会議の枠組みを活用するなどして、多様な主体と連携・協働を進め、内外の知恵や活力を取り入れながら、関係人口*の創出をはじめ、人口減少下にあっても魅力あふれる地域づくりを進めていきます。
- 北海道の魅力を戦略的に発信するとともに、外国人の方々が活躍しやすい多文化共生社会の実現に取り組むなどして、海外の成長力を取り込み、地域の活力の向上を図っていきます。
- 地域の諸課題を解決し、地域創生につながるSDGs*の達成に向けた取組を積極的に進めていきます。

Challenge（挑戦）

課題解決先進地の実現

- 北海道の潜在力を最大限に発揮して、子育て環境の一層の充実をはじめとする少子・高齢化対策や持続的な交通・物流ネットワークの確保など、直面する諸課題に立ち向かい、その解決策を全国に発信するフロントランナーとなることで、我が国の持続的な発展に貢献していきます。
- 自然災害が頻発化・激甚化する中、安全・安心を守る強靱な北海道づくりに取り組むとともに、北海道の強みを活かしたバックアップ機能を発揮していきます。
- 豊富に賦存する再生可能エネルギーの活用によって、我が国全体のエネルギー・ミックス*の実現に寄与していきます。

Creation（創造）

地域経済を先導する産業の振興

- 北海道の未来社会（北海道Society5.0*）を実現するAI*やIoT*、ロボットなどの先端技術の研究開発や社会実装を進めるとともに、航空宇宙産業や健康長寿・医療関連産業をはじめとする、北海道の発展を牽引する産業の育成・振興に取り組んでいきます。
- 北海道の強みである農林水産業や食・観光関連産業の一層の連携・振興を図るとともに、地域の経済・雇用を支える中小企業の経営基盤の強化や円滑な事業承継に取り組んでいきます。
- 女性や高齢者など誰もが働きやすい環境づくりを進めるとともに、北海道の将来を担う人材の育成を進めていきます。

7つの将来像の実現に向けて

- 総合計画が掲げる「7つの将来像」の実現に向けた、今後の各施策の推進方向は次のとおりです。

将来像1 地域全体で支える「子育て環境・最適地」

現状・主な課題

- 周産期医療体制・小児医療体制の整備
- 保育士の有効求人倍率が上昇する中での保育人材の育成・確保
- 児童虐待対策や子どもの貧困対策の必要性
- 他の年齢層に比べて高い水準にある、若者の完全失業率

推進方向

希望をかなえ、安心して生み育てられる子育て支援の充実

主な関連施策

- **希望がかない安心できる出産環境づくり**
妊娠・出産、子育てまで切れ目のない支援を行い、出産を望む方々の希望がかなえられるような環境づくりを進めていきます
- **子どもが健やかに成長できる環境づくり**
子どもが心身ともに健やかに成長できるような社会環境の整備を進めていきます
- **北海道の将来を創造する若者の育成・支援**
北海道の将来を創造していく意欲あふれる若者の育成やその支援を進めていきます

など

他の将来像との関わり

将来像1は主に、子どもを安心して生み育てることのできる環境づくりを進めるための施策で構成されています。施策を効果的に推進していくためには、特に将来像6の「**地元を愛し、健やかな成長を促す教育の推進**」や、将来像7の「**魅力あふれる地域づくりの推進**」といった施策との連携を図っていくことが重要です。

将来像2 北国で心豊かに暮らせる安全・安心社会

現状・主な課題

- 福祉・医療・建設業など各業種での人材の育成・確保
- 医療従事者の確保、地域偏在への対処
- 地域特性を踏まえた持続的な交通網の確立
- 防災・減災教育などの推進

推進方向

どこに住んでいても安心して暮らせる北海道の推進

主な関連施策

- **医療・福祉・介護の更なる充実**
健康寿命の延びによる人生100年時代を見据え、医療や福祉、介護の更なる充実を進めていきます
- **地域防災力の強化と北海道の強靱化**
地域防災力強化に向けた取組を進めるとともに、本道の強靱化など安心して暮らせる基盤の確保・整備を進めていきます
- **多様な主体の社会参加の更なる促進**
高齢者や女性など多様な方々が積極的に社会参加できる環境の醸成を進めていきます

など

他の将来像との関わり

将来像2は主に、将来にわたって安全・安心して暮らしていくことのできる環境を確保するための施策で構成されています。施策を効果的に推進していくためには、特に将来像6の「**産業人材の育成・確保**」や、将来像7の「**魅力あふれる地域づくりの推進**」といった施策との連携を図っていくことが重要です。

将来像3 豊かな自然と共生する「環境先進モデル・北海道」

現状・主な課題

- 豊かな生物多様性の保全
- 全国よりも高い一人当たり温室効果ガス排出量
- 水素を活用したビジネスモデルの確立
- 豊富に賦存する新エネルギーの活用

推進方向

多様性と可能性を活かした環境先進地の創出

主な関連施策

- **エネルギーの地産地消の推進**
地域の特性を活かした分散型エネルギーシステムの普及に努め、エネルギー自給・地域循環システムの構築に取り組んでいきます
- **エネルギー関連の実証・開発プロジェクトと生産拠点の集積**
エネルギー関連企業・実証研究プロジェクトの積極的な誘致・集積や、企業の環境・エネルギー分野への参入促進に取り組んでいきます
- **水素社会の形成促進**
水素関連産業の創出などに寄与する水素社会の実現に向けて取り組んでいきます

など

他の将来像との関わり

将来像3は主に、豊かな自然環境を保全し、持続可能な利用を図る施策で構成されています。施策を効果的に推進していくためには、特に将来像4の「北海道ブランドの発信・海外交流の促進」や、将来像7の「SDGs*の推進」といった施策との連携を図っていくことが重要です。

将来像4 世界に広がる“憧れのくに”北海道ブランド

現状・主な課題

- 輸出環境の変化への対応
- 海外ネットワークの更なる充実
- 観光客の地域偏在、季節偏在
- 外国人来道者に対するホスピタリティの向上

推進方向

世界にはばたく「北海道ブランド」の強化・拡大

主な関連施策

- **北海道ブランドの発信・海外交流の促進**
食や自然環境など世界に誇れる資源を活かした北海道ブランドの発信や海外交流を促進していきます
- **更なる高みを目指した戦略的な観光施策の推進**
更なる観光客増を目指して、受入体制の整備や魅力的な観光地づくりなど戦略的な観光施策に取り組んでいきます
- **交通ネットワークの確保・利用しやすい環境整備づくり**
本道の経済活動や暮らしを支える交通ネットワークの維持・確保や利用しやすい環境整備づくりに取り組んでいきます

など

他の将来像との関わり

将来像4は主に、海外の活力を取り込む施策で構成されています。施策を効果的に推進していくためには、特に将来像5の「魅力的な一次産業の創出」や、将来像7の「北海道独自の歴史・文化の保存と発信」といった施策との連携を図っていくことが重要です。

将来像5 北海道の潜在力を活かす 地域経済の循環

現状・主な課題

- 農林水産業の生産力・競争力強化
- 産業間連携の強化による新製品・新技術の開発促進
- 道民の生活基盤を支える地域商業の活性化
- 人材不足が深刻化する中での企業誘致

推進方向

未来の扉を力強く押し開く強靱な経済の創出

主な関連施策

■ 新たな技術開発の強化

Society5.0*や航空宇宙分野など、次世代の北海道を担う新たな技術開発の強化などによる経済の活性化を進めていきます

■ 魅力的な一次産業の創出

外部環境の変化に強い体力のある生産環境の実現や、スマート農林水産業の推進に取り組んでいきます

■ 中小・小規模企業の振興

地域の経済・雇用を支える中小・小規模企業の振興を進めていきます

など

他の将来像との関わり

将来像5は主に、地域産業の成長力を強化し、経済の好循環を確立するための施策で構成されています。施策を効果的に推進していくためには、特に将来像4の「北海道ブランドの発信・海外交流の促進」、将来像6の「産業人材の育成・確保」、将来像7の「魅力あふれる地域づくりの推進」といった施策との連携を図っていくことが重要です。

将来像6 北の大地を力強く切り拓く 豊富な人材

現状・主な課題

- 幼児教育の推進体制の充実
- 地域特性を踏まえた教育ニーズへの対応
- 女性のライフステージに対応した活躍支援
- 海外との更なる交流拡大に向けた対応

推進方向

新たな発想で挑戦し、未来を牽引する人材育成・確保

主な関連施策

■ 産業人材の育成・確保

働きやすい環境の整備を図るとともに、本道の経済成長を支える産業人材の育成や確保を進めていきます

■ グローバル人材の育成

グローバル化が進む中、国内外で広く活躍できる人材の育成を進めていきます

■ 地元を愛し、健やかな成長を促す教育の推進

ふるさとへの愛着を育み、健やかな成長を促進する教育環境の整備を進めていきます

など

他の将来像との関わり

将来像6は主に、人材育成や技術開発を促進するための施策で構成されています。施策を効果的に推進していくためには、特に将来像1の「北海道の将来を創造する若者の育成・支援」や、将来像7の「魅力あふれる地域づくりの推進」といった施策との連携を図っていくことが重要です。

将来像7 北海道ならではの個性あふれる地域

現状・主な課題

- 地域の行政サービスの持続的な提供
- 国の広域連携制度の活用が困難な地域における広域連携の推進
- 関係人口*の拡大など地域活性化に向けた取組の推進
- アイヌ文化の振興、縄文遺跡群の世界遺産登録に向けた取組の推進

推進方向

人がもっと元気に輝く、活力に満ちた地域社会の実現

主な関連施策

■ SDGsの推進

誰一人取り残さない社会の実現に向け、多様な主体の方々と連携しながら、SDGs*の更なる道内展開を進めていきます

■ 魅力あふれる地域づくりの推進

関係人口*の創出や移住・定住の促進、地域価値の磨き上げなどを進めることにより、魅力あふれる地域づくりをすすめていきます

■ 北海道独自の歴史・文化の保存と発信

アイヌや縄文など、北海道独自の歴史や文化の保存・継承と発信を進めていきます

など

他の将来像との関わり

将来像7は主に、持続可能な地域社会を形成していくための施策で構成されています。施策を効果的に推進していくためには、特に将来像1の「**北海道の将来を創造する若者の育成・支援**」、将来像2の「**多様な主体の社会参加の更なる促進**」、将来像6の「**地元を愛し、健やかな成長を促す教育の推進**」といった施策との連携を図っていくことが重要です。

■ 前ページまでに、7つの将来像ごとに、その実現に向けた推進方向を掲げました。その内容を、計画が政策展開の基本方向として掲げる3つの分野（「生活・安心」、「経済・産業」、「人・地域」）に沿って次のとおり再整理しています。

	想定される政策課題	施策の推進方向	主な関連施策
生活・安心	子育て環境、医療・福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> 希望をかなえ、安心して産み育てられる子育て支援の充実 どこに住んでいても安心して暮らせる北海道の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 希望がかない安心できる出産環境づくり 子どもが健やかに成長できる環境づくり 医療・福祉・介護の更なる充実
	環境保全 再生可能エネルギーの導入促進	<ul style="list-style-type: none"> 多様性と可能性を活かした環境先進地の創出 	<ul style="list-style-type: none"> エネルギーの地産地消の推進 エネルギー関連の実証・開発プロジェクトと生産拠点の集積 水素社会の形成促進
	安全・安心の確保 強靱化の推進	<ul style="list-style-type: none"> どこに住んでいても安心して暮らせる北海道の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 地域防災力の強化と北海道の強靱化
経済・産業	農林水産業の強化	<ul style="list-style-type: none"> 未来の扉を力強く押し開く強靱な経済の創出 	<ul style="list-style-type: none"> 魅力的な一次産業の創出
	地域産業の創造 科学技術の振興	<ul style="list-style-type: none"> 未来の扉を力強く押し開く強靱な経済の創出 	<ul style="list-style-type: none"> 新たな技術開発の強化 地域の産業や雇用を支える中小・小規模企業の振興
	海外との交流拡大 戦略的な観光の推進	<ul style="list-style-type: none"> 世界にはばたく「北海道ブランド」の強化・拡大 	<ul style="list-style-type: none"> 北海道ブランドの発信・海外交流の促進 更なる高みを目指した戦略的な観光の推進
人・地域	地域コミュニティの再構築 人材育成	<ul style="list-style-type: none"> 人がもっと元気に輝く、活力に満ちた地域社会の実現 新たな発想で挑戦し、未来を牽引する人材の育成・確保 	<ul style="list-style-type: none"> 北海道の将来を創造する若者の育成・支援 魅力あふれる地域づくりの推進 産業人材の育成・確保 グローバル人材の育成 地元を愛し、健やかな成長を促す教育の推進 多様な主体の社会参加の更なる促進
	歴史・文化の発信と継承	<ul style="list-style-type: none"> 人がもっと元気に輝く、活力に満ちた地域社会の実現 	<ul style="list-style-type: none"> 北海道独自の歴史・文化の保存と発信
	社会資本整備 地域交通の確保	<ul style="list-style-type: none"> どこに住んでいても安心して暮らせる北海道の推進 人がもっと元気に輝く、活力に満ちた地域社会の実現 	<ul style="list-style-type: none"> インフラの計画的な維持管理・更新による長寿命化 交通ネットワークの確保・利用しやすい環境整備づくり
			<ul style="list-style-type: none"> SDGs*の推進

<本道の価値と強み>



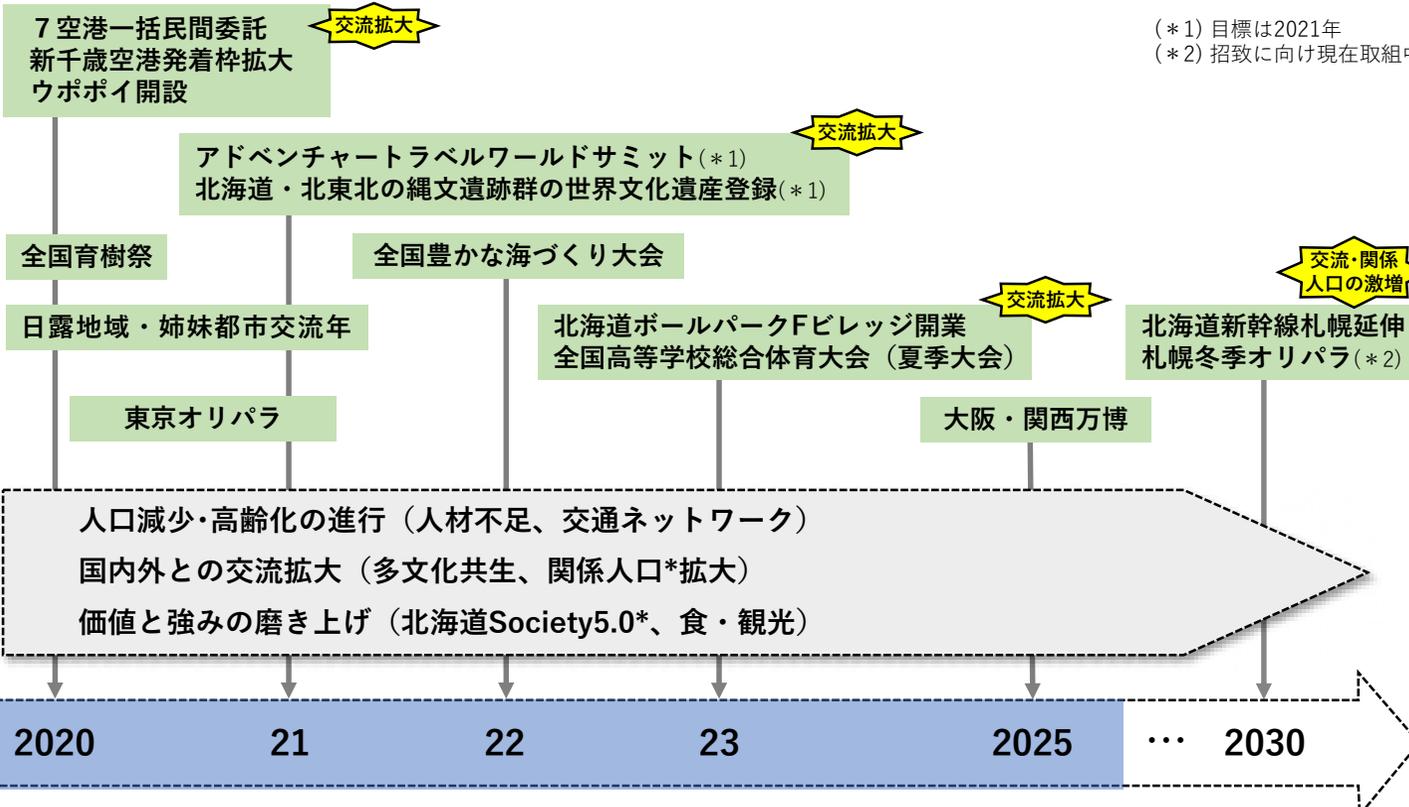
本道の潜在力を発揮

2016 北海道総合計画 2019

中期的な点検・評価

<経済社会情勢の主な変化>

人口減少 少子高齢化	人手不足
Society5.0* SDGs*	新技術の進展
女性・高齢者の 就業率上昇	自然災害リスク の高まり
グローバル化の 進展	外国人観光客 の急増



(*1) 目標は2021年
(*2) 招致に向け現在取組中

4つの共通視点(CSU4)	Chance (好機) 新交流時代を捉えた政策展開	大きなチャンスを実に捉え、北海道の発展に結びつけていく
	Challenge (挑戦) 課題解決先進地の実現	直面する課題への解決策を全国に発信し、我が国の持続的な発展に貢献する
	Cooperation (連携) 多様な力を結集した地域の創生	内外の知恵や活力を取り入れながら、多様な主体と連携・協働を進め、地域の活力を創出する
	Creation (創造) 地域経済を先導する産業の振興	未来社会を実現する産業や強みを活かした産業の育成・振興に取り組む



■ 今後の計画推進に当たっては、これまでに述べてきた「今後の計画推進の基本的考え方」に沿って施策の展開を図るとともに、施策効果をさらに発揮させていくため、次のような取組を進めていきます。

(計画推進を通じた政策提案力や実行力の強化)

本計画は、これまでも「計画策定・実行・評価・改善」というPDCAサイクルにより、その推進状況を把握してきましたが、今後とも、今回の点検結果や今後の経済社会情勢の変化なども踏まえながら各政策の的確な推進に努め、計画推進を通じた政策提案力や実行力の強化を図っていきます。

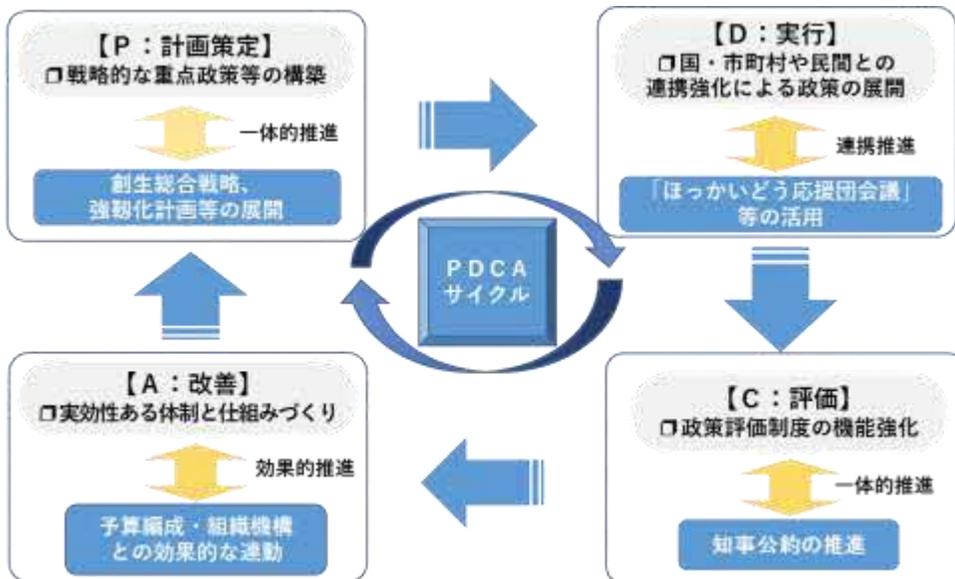
(分野連携による効果的な展開)

計画期間である令和7(2025)年度までの計画推進に当たっては、道外や海外からの新たな活力や応援を積極的に取り込みながら、計画において道が道民とともに進める政策展開として示している3つの分野を相互に連携させて相乗効果を発揮し、既存概念にとられない新たな発想で取り組んでいきます。

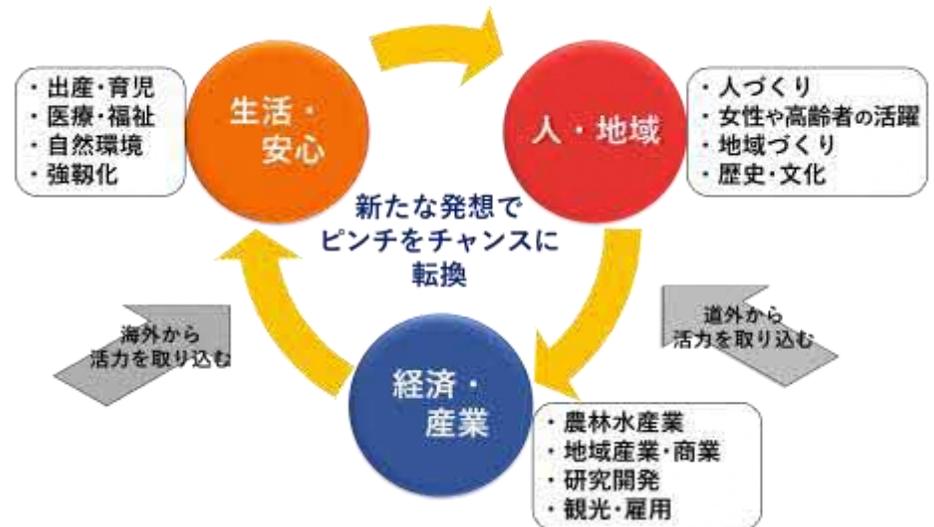
(公約との一体的な推進)

「北海道・新時代」を創造していくためには、知事公約として掲げられている政策についても、その進捗状況を把握し、着実な推進を図っていくことが必要です。このため、毎年度実施している政策評価を通して、総合計画と公約を一体的に推進していきます。

政策提案力・実行力の強化、公約との一体的な推進



国内外から活力を取り込みながら3つの分野を相互に連携させ、相乗効果を発揮



〈北海道総合計画とSDGsとの関連〉

SDGs*（持続可能な開発目標）は、経済・社会・環境を巡る広範囲な課題を不可分なものとして統合的に解決することを目指すもので、国際社会共通の目標となっています。

我が国においても、「持続可能な開発目標(SDGs)実施指針」が平成28(2016)年12月に策定され、その中で、「地方自治体に、各種計画や戦略、方針の策定や改訂に当たってはSDGsの要素を最大限反映することを奨励」しており、道においても平成30(2018)年12月に「北海道SDGs推進ビジョン」を策定しています。

北海道総合計画の推進は、同じ方向を目指すSDGsの理念の実現に資するものです。総合計画の「政策の柱」とSDGsの17のゴールの関係は、次のとおりです。

○北海道総合計画とSDGsとの関連 政策の柱ごと

	 ゴール1	 ゴール2	 ゴール3	 ゴール4	 ゴール5	 ゴール6	 ゴール7	 ゴール8	 ゴール9	 ゴール10	 ゴール11	 ゴール12	 ゴール13	 ゴール14	 ゴール15	 ゴール16	 ゴール17	
1 生活 安心																		
①安心して子どもを生み育てることができる環境づくりの推進	●	●	●		●				●			●					●	●
②安心して質の高い医療 福祉サービスの強化	●	●	●							●	●							●
③豊かで優れた自然 生物多様性の保全とその継承		●	●			●					●	●		●	●			●
④環境への負荷が少ない持続可能な社会の構築			●	●		●	●	●	●		●	●	●	●				●
⑤道民生活の安全の確保と安心の向上	●	●	●	●	●					●		●			●	●		●
⑥安全 安心な生活の基礎となる防災体制の確立	●										●		●					●
⑦強靱な北海道づくりとバックアップ機能の発揮	●	●							●		●		●					●
2 経済 産業																		
①農林水産業の持続的な成長		●		●				●			●				●	●		●
②本道の優位性を活かした力強い地域産業の創造		●					●	●	●									●
③中小 小規模企業の振興や地域商業の活力再生				●				●	●									●
④新たな成長産業への挑戦や研究開発の推進						●	●	●	●			●		●				●
⑤海外の成長力を取り込んだ経済の持続的発展		●						●										●
⑥多彩な地域資源を活かした世界が憧れる観光立国北海道の更なる推進								●			●	●						●
⑦良質で安定的な雇用の場づくりと産業人材の育成 確保	●			●	●			●		●							●	●
3 人 地域																		
①協働によるまちづくりの推進や地域コミュニティの再構築					●			●	●		●						●	●
②北海道の未来を拓く人材の育成	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●			●	●
③高齢者や障がいのある方々、女性が活躍できる社会づくり	●			●	●			●		●							●	●
④ふるさとの歴史 文化の発信と継承				●							●							●
⑤世界に飛躍するスポーツ王国北海道の実現			●	●						●	●	●						●
⑥連携 協働 交流による未来に向けた地域づくり	●	●	●	●		●	●		●	●	●	●	●	●			●	●
⑦持続可能な社会 経済を支える社会資本の整備						●				●	●							●



北海道総合計画の 推進状況と今後の展望

～「北海道・新時代」の創造に向けて～

発行／北海道総合政策部
政策局計画推進課

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目
TEL 011-204-5630 (直通)
URL <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss.sks/index.htm>